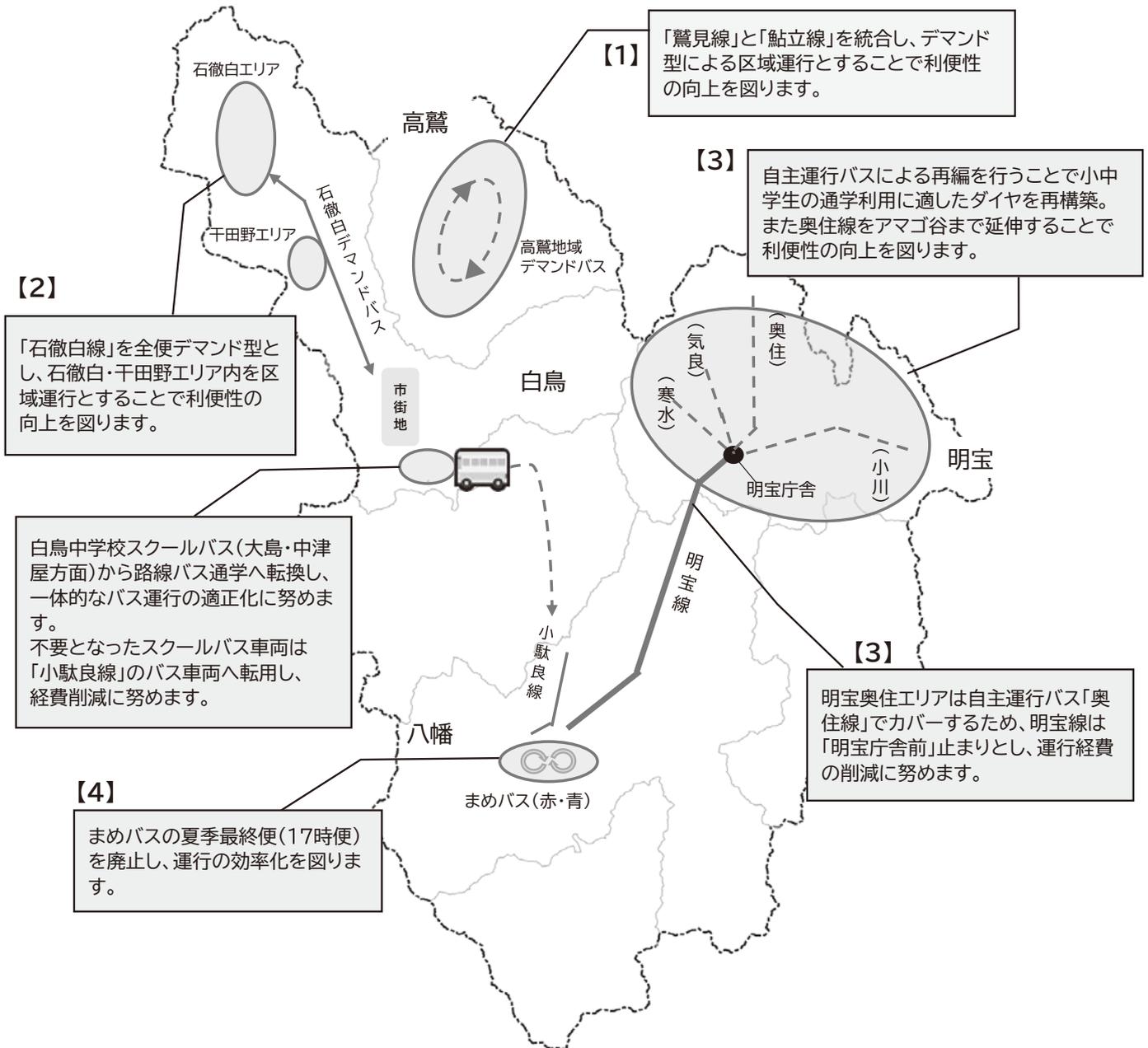


～郡上市の公共交通～

『令和8年4月から、こう変わる』

より利用しやすく、持続可能性のあるバス体系を目指して、地域のみなさん、交通事業者、学校や関係機関との協議を重ねつつ、バス路線の見直しを実施しています。その取り組みをご紹介します。



他の路線についても、利便性の向上や効率的な運行を目指して順次見直しを行っていきます。

『デマンド型運行』とは・・・

利用者から予約の連絡があった場合にのみ運行する公共交通サービスです。

【1】高鷲地域

高鷲地域協議会との協議・検討を重ねた結果、「鷲見線」と「鮎立線」を統合し、完全予約型の『高鷲地域デマンドバス』として運行を開始します。

◎メリット

「区域運行」を採用したため、今までのようなバス停ではなく、可能な範囲でご自宅付近での乗降が可能となります。なお、大鷲地区内では決められた施設（医療機関・金融機関・公共施設等）でのみ乗降可能です。

▲デメリット

ご利用の際は必ず電話による事前予約が必要のため、お手間をお掛けすることになります。

高鷲地域デマンドバスの運行曜日は月・水・

金（各日6便）のみ運行します。

問 高鷲振興課 72・5111

【2】白鳥地域

「石徹白線」を全便予約型の『石徹白デマンドバス』として運行を開始します。また、白鳥町デマンドバスから「干田野ルート」を移管し、運行の最適化を図ります。

◎メリット

「区域運行」の採用により、石徹白エリア内と干田野エリア内では可能な範囲でご自宅付近での乗降が可能となるため、買い物利用などでの利便性が向上します。

▲デメリット

ご利用の際は必ず電話による事前予約が必要のため、お手間をお掛けすることとなります。

問 株式会社白鳥交通 82・5081

【3】明宝地域

明宝小学校・明宝中学校の協力のもと、明宝地域のスクールバスを自主運行バスへ転換し一体的に運行ダイヤを再編することにより、明宝小・明宝中への通学利用に最適なダイヤを再構築します。また、明宝線の終点バス停「郡上明山」より「坂本（アマゴ谷）」まで延伸した奥住線を新設することで、利便性の向上を図ります。

◎メリット

児童、生徒が同時時間帯の自主運行バスを利用して登校できます。下校時は同バス車両をスクールバス車両として切り替えて利用できます。

▲デメリット

自主運行バスは一般の人も利用するため、バス利用のルール・マナーを覚えていただく必要があります。また、従来運行していた土曜日の

運行は廃止します。

明宝線が「明宝庁舎前」での折返し運行となるため、畑佐、奥住方面へ行かれる際は、自主運行バスへの乗り継ぎが必要となります。

問 明宝振興課 87・2211

【4】八幡地域

まめバスの夏季最終便（17時台）を廃止し、運行の効率化を図ります。

○令和8年3月まで

	始 発	最 終
夏ダイヤ	8時台	17時台
冬ダイヤ	8時台	16時台
日曜・祝日	9時台	16時台



●令和8年4月から（季節別ダイヤを廃止）

	始 発	最 終
平日・土曜 (通年)	8時台	16時台
日曜・祝日	9時台	16時台

問 総務部防災安全課 67・1832

●各路線の変更に伴う運賃や

ダイヤ等の情報は、市ホームページをご確認ください。

